

暮らしや地域産業を支える道づくり

一般国道1号関バイパスは、三重県亀山市太岡寺町から亀山市関町沓掛に至る延長約7.1kmの幹線道路です。国道1号の増加する交通量に対して、適切な交通機能の分担を図るとともに、道路交通の安全を確保し、さらには地域経済の核となるプロジェクトを支援する道路です。



一般国道1号 関バイパス プロフィール

路線名	一般国道1号
都市計画決定	平成8年11月5日
計画区間	三重県亀山市太岡寺町 ～亀山市関町沓掛
計画延長	約7.1km
構造規格	第3種2級
設計速度	60km/h
標準幅員	W=28m (4車線×3.5m)
暫定計画幅員	W=13.5m (2車線×3.5m)
事業化年度	平成8年度～ (2工区は平成15年度～)
事業区間	三重県亀山市太岡寺町 ～亀山市関町沓掛
事業延長	2.5km

関バイパス周辺の地域の現状と課題

交通の結節点

関バイパス周辺の地域は、国道1号、国道25号(名阪国道)、東名阪自動車道や伊勢自動車道が通っており、中部圏と関西圏を結ぶ交通の結節点となっています。



地域経済の拠点

三重県では、県内を21世紀の成長産業である液晶産業の世界的集積地とする『クリスタルバレー構想』が進められており、関バイパスの沿線地域では、中部圏と関西圏の交通の結節点としての地の利を活かして、関連企業等の誘致計画が推進されています。

クリスタルバレー構想

三重県内での産業集積を活かし、液晶をはじめとするフラットパネルディスプレイ産業の世界的集積をつくることにより、多様で強靱な産業構造を形成し活力ある地域づくりを目指す構想です。

慢性的な渋滞

主要幹線道路であり地域の生活道路でもある国道1号は、通過交通と地域内交通が混在しており、日常的に渋滞が発生しています。近年、工場の進出等で、工業団地に入る通勤交通や物流交通による新たな渋滞も発生しています。



渋滞状況(亀山市関町木崎付近)



渋滞状況(亀山市関町木崎付近)



開発が進む沿線地域 (2007年9月撮影)